

# 參考資料

※出典

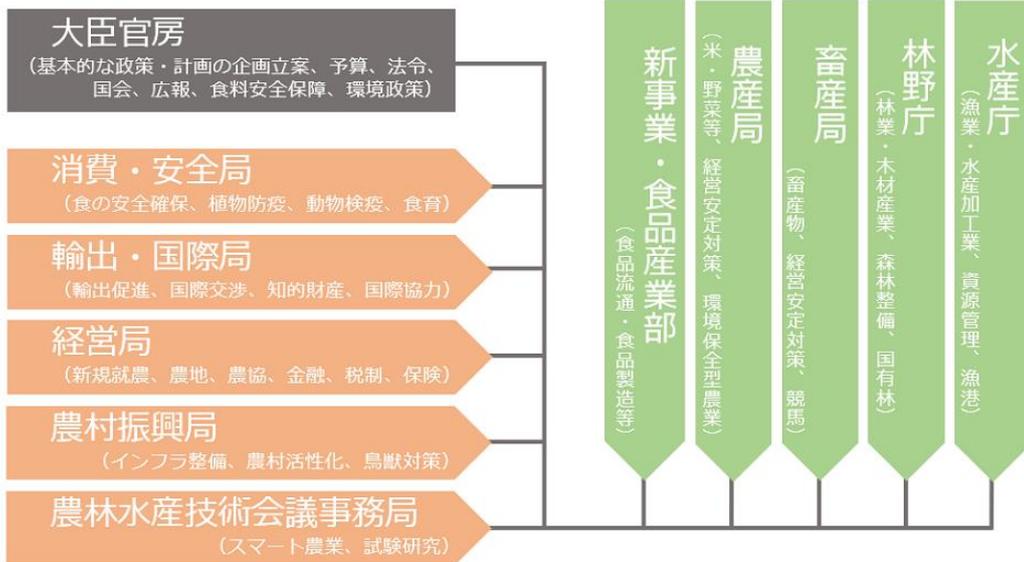
- 【農林水産省の役割】及び【関東農政局のお仕事】については、農林水産省ホームページ（農林水産省の政策）・関東農政局入省ガイド2023を加工して作成
  - ・農林水産省ホームページ（農林水産省の政策）  
<https://www.maff.go.jp/j/joinus/recruit/policy/index.html>
  - ・関東農政局ホームページ（組織案内・組織図）  
<https://www.maff.go.jp/kanto/annai/sosiki/index.html>
  - ・関東農政局入省ガイド2023  
[https://www.maff.go.jp/kanto/annai/saiyou/attach/pdf/saiyoujyouhou\\_daisotsu2023-2.pdf](https://www.maff.go.jp/kanto/annai/saiyou/attach/pdf/saiyoujyouhou_daisotsu2023-2.pdf)

# 農林水産省の役割

農林水産省は、食料の安定供給と、活力ある地域社会の維持、国土・自然環境の保全などを通じて我が国の経済社会と国民生活の安定を図るうえで極めて重要な役割を果たしています。



## 農水省の組織



## 大臣官房

農林水産省では、食の安全確保と安定供給、農業経営の安定、農業構造の強化、農山漁村地域の活性化などに、幅広く取り組んでいます。大臣官房では、その基本的な政策ビジョンの策定、法令審査、予算編成、国会との連絡調整、広報活動、地方との連携、災害対策、食料安全保障、環境政策、統計等を担っています。



## 食料安全保障

世界の人口増加に伴う食料需要の拡大が見込まれる中、気候変動や世界情勢の変化等により、食料の安定供給に対する懸念が高まっており、食料安全保障強化が重要となっています。このため、食料需給動向の調査・分析や、食料需給トレンドの将来予測モデルの開発、不測時に備えたシミュレーション演習等に取り組んでいます。

## 環境政策

国内外でSDGsや環境を重視する動きが加速する中、我が国の食料・農林水産業は気候変動への対応、生産者の減少などの政策課題を抱えています。このため「みどりの食料システム戦略」を策定し、省一丸となり食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に取り組んでいます。

## デジタル戦略

農林漁業・食品産業の現場や農林水産省の業務運営のデジタルトランスフォーメーション(DX)を戦略的かつ迅速に進めるのがデジタル戦略グループのミッションです。2021年3月公表の「農業DX構想」に即し、行政手続きのオンライン化や、農地情報を統合する農林水産省地理情報共通管理システムの開発などを進めています。



## 新事業・食品産業部

食品産業は、食品の加工・製造・流通を担い、消費者のニーズに応じて食品を供給する役割を果たすとともに、国産農林水産物の主要な需要先であり、地域経済を支える産業となっています。時代の変化に対応し、消費者の豊かな食生活を支えるため、食品産業の育成・振興、ESG対応、フードテックなどを進めています。



## 消費・安全局

何よりも大切なのは、国民の健康を守ること。消費・安全局は、この考えのもと、生産現場から食卓までのあらゆる場面で科学的な根拠に基づいた措置を講じています。具体的には、家畜や農作物などの病気等を防ぐとともに、諸外国との検疫協議や食品表示の適正化、食育などにも力を入れていきます。



## 輸出・国際局

農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする目標の達成に向け、海外での販売力強化、輸出産地の育成・展開、放射性物質や動植物検疫規制の緩和・撤廃交渉などの取組を行うとともに、知的財産の保護・活用に取り組んでいます。また、TPP、WTO等の貿易交渉や、国際会議等にも力を入れていきます。



## 農産局

農産物の生産・販売を持続的に拡大し、農業者の所得向上を図るため、農産物の生産振興施策と環境保全を推進しています。具体的には、農産物の高品質化や農業者の所得向上を図ることで、米・麦や、さとうきび・てん菜、茶、野菜・果樹などの生産振興に取り組むとともに、環境保全で消費者の信頼確保に努めています。



## 畜産局

畜産物を安全かつ安定的に供給するとともに、畜産農家や関連事業者の経営安定等を図るため、生産から流通・消費に至る一連の畜産振興施策を推進しています。高まる需要に応えるため、牛肉等の国内生産量を増やすほか、畜産農家の労働環境の改善、環境対策等に取り組んでいます。

## 経営局

農業経営の改善と発展に向けた各種施策を進めています。具体的には、担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、融資、税制などの重点的な支援、新規就農対策などに取り組んでいます。また、天候などに左右されやすい農業経営を安定化させるためのセーフティネットの確保、農協の指導や監督も行っています。



## 農村振興局

土地や水は、我が国の農業生産を支える重要なインフラです。農業の競争力を高め、農村地域を災害から守るため、それらの保全や管理・整備を進めています。また、農山漁村の美しい景観、伝統的な食、古民家やジビエなど、これら宝を磨き上げ、農山漁村の振興に繋げるための地域の特色ある取組も推進しています。



## 農林水産技術会議事務局

日本の農業を魅力ある成長産業とするカギは「スマート農業」にあります。先端技術を現場に実装することで、生産者の負担軽減と所得向上を目指します。また、環境問題が深刻化している中で、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現していくため、環境負荷軽減に取り組んでいきます。



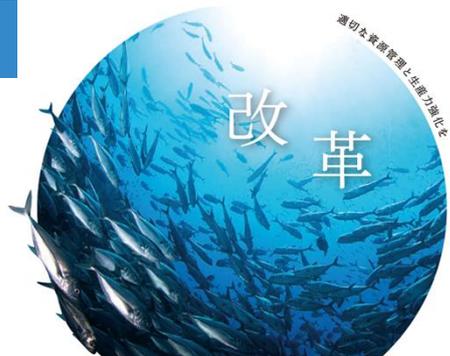
## 林野庁

先人の努力により造成された日本の森林資源は、今まさに本格的な利用期を迎えています。「グリーン成長」を実現し、豊かな森林を次代に継承していくことが林野庁の使命です。そのため、木材利用のニーズを拡大するとともに、林業の効率化や、低コストかつ安定的な木材供給体制を推進しています。



## 水産庁

我が国では水産物の漁獲量の減少が続いている一方、世界ではその需要が拡大しており、我が国の水産業は大きな成長のチャンスを迎えています。水産庁では、70年ぶりの漁業法改正をはじめ、資源管理体制の構築、スマート水産業の実現、輸出促進、そして国際交渉などにリーダーシップをとって対応しています。

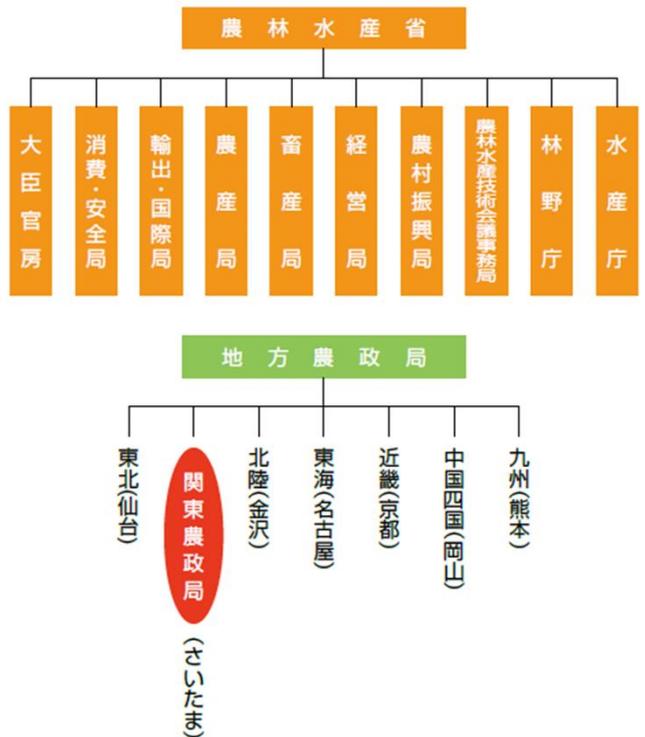


# 関東農政局のお仕事

関東農政局は、農林水産省の地方行政組織（全国で7か所）の1組織として、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野及び静岡の1都9県を管轄し、地域の特性を活かしたきめの細かい農業行政を総合的に推進しています。



■ 関東農政局の位置



## 企画調整室

農政局が所掌する各種施策に関する企画・総合調整、広報・報道活動、農畜産物等の災害対策のとりまとめ、農畜産物・飲食料品等の物価対策、農政全般に関する情報発信・収集及び相談対応等の事務。

## 総務部

公文書管理、職員の人事・給与・福利厚生、一般会計・特別会計の経理、国有財産の管理等の事務。

## 消費・安全部

消費者行政、食品表示法等に基づく食品表示の監視等、食育の推進、米穀の流通監視、農薬・肥料・飼料等の使用の適正化、牛トレーサビリティ等の事務。

## 生産部

農畜産物の生産振興等に関する各種指導・助成、米の需給調整、経営所得安定対策、主要食糧の売買・管理、地方競馬監督、各種生産技術対策や環境保全型農業の推進等の事務。

## 経営・事業支援部

担い手の育成・確保、担い手への農地集積・集約化、農林水産物・食品の輸出の促進、バイオマスの利活用の推進、新規就農の促進や女性の活動促進等の事務。

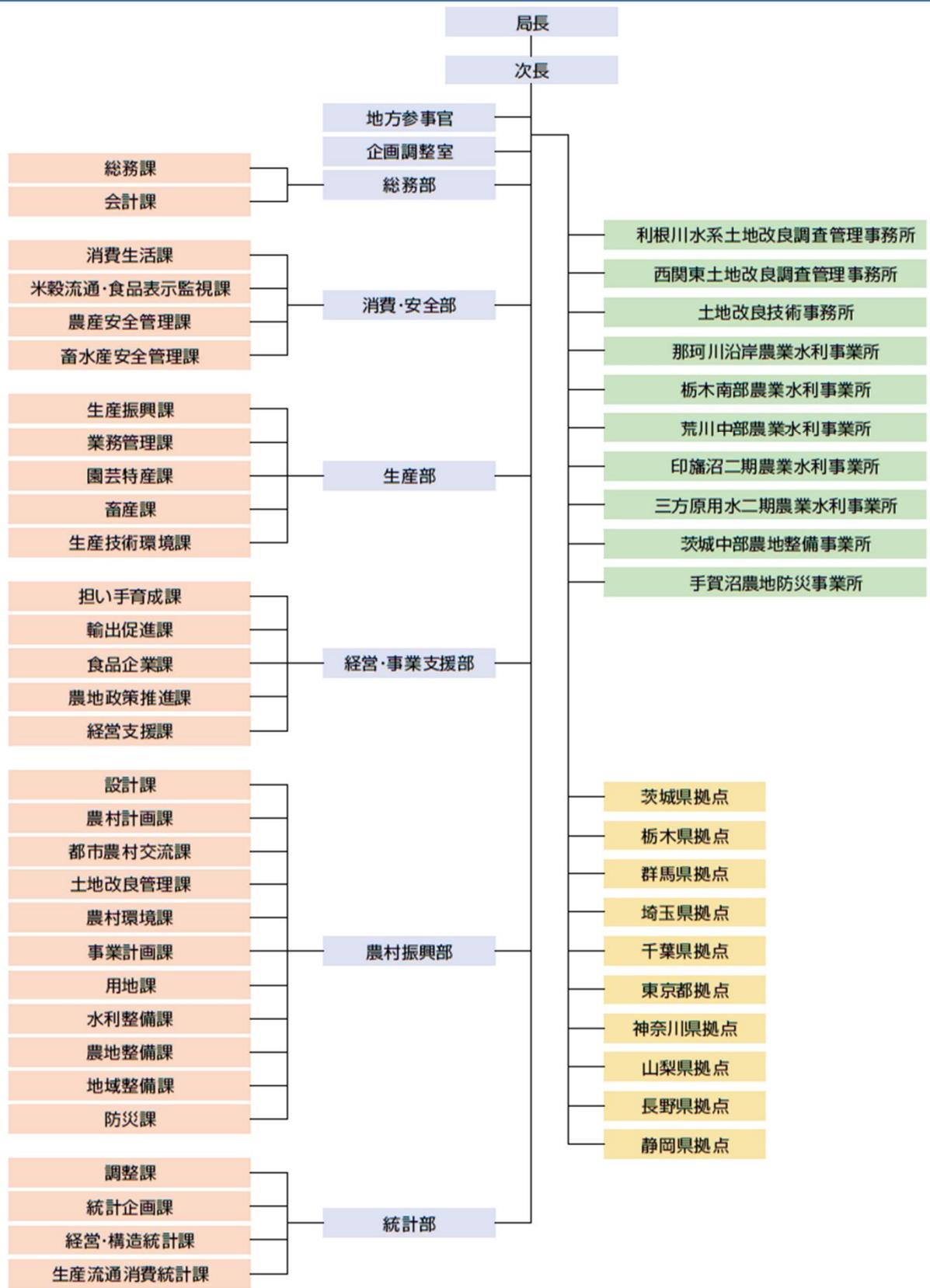
## 農村振興部

農業農村整備事業、農業水利の調整、多面的機能支払交付金、中山間直接支払交付金、農業振興地域制度、農地転用許可、都市農村交流の推進、農山村地域の活性化、土地改良区の指導・監督、鳥獣被害防止対策等の事務。

## 統計部

農林水産行政に必要な農林水産業及び農林漁家に関する統計調査の実施やとりまとめ、その結果についての報告書の作成の事務。

# 組織・関東農政局



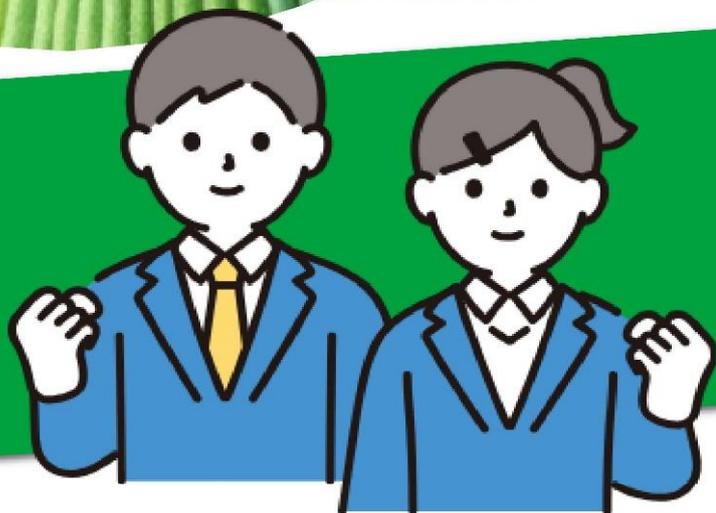
## 各都県拠点

「農林水産業・地域の活力創造プラン」や新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づく農政改革を着実に推進するため、農政についての説明や相談に対応する農政全般に関する総合窓口として、自治体等と協力して農政課題の解決に取り組むための事務。

## 管内国営事業（務）所

食料需要に対応できる供給力を確保するため、食料生産の中核を形成する優良農業地域を対象に、受益者の申請に基づいて国営事業を実施。

# 【全国版・第1回】 みどり戦略 学生チャレンジ



みどりの  
食料シス  
テム戦略

我が国の食料・農林水産業は、国内の食料安定供給や食生活を支える重要な産業です。一方で、生産者の減少・高齢化や地域コミュニティの衰退、地球温暖化や生物多様性の喪失などの様々な課題に直面しています。また、近年は、国内外のあらゆる産業において、SDGsや環境への対応が不可欠となり、持続的な生産・消費への関心が高まっています。

こうした状況を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための新たな政策方針として、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

戦略の実現に向けては、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の幅広い関係者が一体となって環境負荷低減に取り組む必要があります。学生の皆さんは、2050年に我が国を担う中核世代であり、皆さんのこれからの取組に日本や世界の未来が懸かっています。

みどり戦略の主役として、日本の食料・農林水産業をリードするために、環境に配慮した取組にチャレンジしてみませんか。

## ●対象:

### ①高校の部

(高等学校、高等専修学校、高等専門学校(3年生以下)の学生により構成されるグループ又は個人)

### ②大学・専門学校の部

(大学、短期大学、専門学校、高等専門学校(4年生以上)の学生により構成されるグループ又は個人)

\*授業の一環、部活動、ゼミ・サークル活動等、参加形式は問わない。学校の垣根を超えたグループも可。

\*農業高校、農業大学校等、農業に関する教育機関に限らない。

## ●募集期間:

参加宣言:令和6年1月~5月

取組実施:令和6年1月~9月

取組報告:令和6年10月

ポスター(A版縦長1枚)

※全国大会出場者はポスター発表動画(4分以内)を追加提出

\*優秀作品は表彰予定

## ●内容:

・みどりの食料システム戦略に基づいた取組を実践  
<具体例>

- 調達:生産段階でのプラスチック削減、堆肥の活用
- 生産:土壌分析やドローンを活用した化学肥料・化学農薬の低減、バイオ炭の農地土壌への投入技術
- 加工・流通:環境負荷を低減した農産物の市場拡大
- 消費:見た目重視の商品選択の見直し、食品ロス削減の仕組み作り
- ・取組概要を取りまとめたポスター・発表動画等を「学生チャレンジ」として各種イベント、YouTube配信等により紹介
- ・意見交換会等による参加チーム間の交流を予定

<事務局>

農林水産省

大臣官房みどりの食料システム戦略グループ(担当者:吉濱、大依、菅原、船山)

経営局就農・女性課(担当者:小池、星)

☎ 03-3502-8056(みどりG)、03-6744-2160(就農・女性課)

✉ midori-challenge@maff.go.jp

農林水産省

詳しくはこちら ▶



Ver.2.0

全国版  
第1回

# みどり戦略学生チャレンジ 地域ブロック別問合せ窓口一覧

みどりの  
食料シス  
テム戦  
略

地域ブロック	問合せ窓口	連絡先
北海道ブロック	北海道農政事務所 企画調整室 (担当者:高橋、相馬、馬場)	☎011-330-8801 E-mail: <a href="mailto:hokkaido_kikaku@maff.go.jp">hokkaido_kikaku@maff.go.jp</a>
東北ブロック (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県)	東北農政局 企画調整室総括チーム(担当者:菅原、橋本) 経営・事業支援部経営支援課 就農促進班(担当者:鈴木、佐々木)	☎022-263-1111 (企画調整室総括チーム:内線4080) (経営支援課就農促進班:内線4434) E-mail: <a href="mailto:tohoku_midori@maff.go.jp">tohoku_midori@maff.go.jp</a>
関東ブロック (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、 千葉県、東京都、神奈川県、山梨 県、長野県、静岡県)	関東農政局 経営・事業支援部 経営支援課 (担当者:山本、廣田)	☎048-740-0394 E-mail: <a href="mailto:kaoru_yamamoto230@maff.go.jp">kaoru_yamamoto230@maff.go.jp</a> <a href="mailto:yoshihiro_hirota490@maff.go.jp">yoshihiro_hirota490@maff.go.jp</a>
北陸ブロック (新潟県、富山県、石川県、福井 県)	北陸農政局 企画調整室 (担当者:亀喜、空田、金澤、紋田) 経営・事業支援部経営支援課 (担当者:炭谷、宮本、中山)	☎076-232-4206(企画調整室) ☎076-232-4238(経営支援課) E-mail: <a href="mailto:hokumidori_challenge@maff.go.jp">hokumidori_challenge@maff.g o.jp</a>
東海ブロック (岐阜県、愛知県、三重県)	東海農政局 【全体窓口】企画調整室(担当者:亀蔦、 井出、中島) 【農業教育関係】経営・事業支援部経営 支援課(担当者:杉原、武藤)	☎052-223-4610(企画調整室) ☎052-223-4620(経営支援課) E-mail: <a href="mailto:tokai_kikaku@maff.go.jp">tokai_kikaku@maff.go.jp</a>
近畿ブロック (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県)	近畿農政局 企画調整室 (担当者:大森、勝田)	☎075-414-9036 E-mail: <a href="mailto:kinki_kikaku01@maff.go.jp">kinki_kikaku01@maff.go.jp</a>
中国四国ブロック (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、 山口県、徳島県、香川県、愛媛県、 高知県)	中国四国農政局 経営・事業支援部 経営支援課 (担当者:木尾、薦淵)	☎086-224-4511(内線:2477) E-mail: <a href="mailto:kenji_kio950@maff.go.jp">kenji_kio950@maff.go.jp</a> <a href="mailto:chisato_komobuchi420@maff.go.jp">chisato_komobuchi420@maff. go.jp</a>
九州ブロック (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県)	九州農政局 企画調整室 (担当者:金子、田尻、上大田)	☎096-300-6002 E-mail: <a href="mailto:midori_kyushu@maff.go.jp">midori_kyushu@maff.go.jp</a>
沖縄ブロック	内閣府沖縄総合事務局農林水産部 (担当者:浅海、新城、兼島)	☎098-866-1627 E-mail: <a href="mailto:midori_setsumei.x8u@ogb.cao.go.jp">midori_setsumei.x8u@ogb.cao. go.jp</a>
本省事務局(全国)	農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略 グループ(担当者:吉濱、大依、菅原、船山) 経営局就農・女性課(担当者:小池、星)	☎03-3502-8056(みどりG) ☎03-6744-2160(就農・女性課) E-mail: <a href="mailto:midori-challenge@maff.go.jp">midori-challenge@maff.go.jp</a>

農林水産省

# 最後に

関東農政局栃木県拠点では、栃木県及び栃木県高等学校教育研究会農業部会等の御協力をいただき、栃木県内に所在する農林水産関係学校と連携した担い手育成対策の取組を推進しております。「百花繚乱」は、農業関係高校の魅力やZ世代の強みを活かした多様な取り組みを詰め込んだ冊子です。2018年の創刊から今年で7度目の発行となりました。過去の「百花繚乱」については、関東農政局栃木県拠点ホームページに掲載していますのでご案内します。

★関東農政局栃木県拠点ホームページ

[https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/tochigi\\_hyakaryouran.html](https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/tochigi_hyakaryouran.html)

